

	環境行動指針	担当課	目標	指標	最終目標	H28目標	H28実績	達成度	備考	基本方針・個別目標
						最終目標	延べ実績			
3	○里道の歩道化を検討するとともに、既存の緑道などと連結し、休憩場所などがある快適な歩道のネットワーク化を推進します。	公園緑地課	四谷から各駅を繋ぐ緑道などに案内標識や案内板を設置する。	案内標識・案内板設置及び改修件数	平成28年度以降は、里道等の快適な歩道化(検討)	6 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	郷土の森公園を中心に各駅を結ぶ案内板の設置及び改修は完了した。今後は、水と緑のネットワークを結ぶ、各緑道、遊歩道の案内板を改修していく。	基本方針1 緑の保全と活用
						—	12 か所			
4	○生産緑地を中心として、積極的に都市農地を保全します。	経済観光課 (農業委員会)	農業経営改善事業補助金により、生産緑地等農地の保全協定を締結し、農地の保全を図る。生産緑地を見回り、営農態の確認をとる。	協定農地面積	平成34年度 60,000㎡	52,525 ㎡	46,059 ㎡	やや遅れが生じているが、概ね順調	やや遅れは生じているものの、補助事業の活用に併せ、生産緑地等農地の保全について、農業者との協定を順調に締結し、また、職員による随時の農地の巡回においても、農地の肥培管理は良好であったことから、概ね順調に進んでいると考える。	基本方針1 農地の保全
						60,000 ㎡	— ㎡			
7	○「府中市生物多様性保全地域戦略」の策定を検討し、自然環境の保全や野生動植物の保護、外来種対策など、地域の特性に応じた生物多様性の保全に関する実践的な取組を促進します。	環境政策課	生物多様性の主流化	達成率	H26策定 H27以降は主流化 戦略期間は H31まで	20 %	40 %	目標どおり順調に進捗している	普及啓発や市民参加型の取組みの強化を図るとともに、生物多様性を分かりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを行っていく。 平成28年度指標変更。	基本方針1 生物多様性の保全
						100 %	40 %			
14	○市が中心となって、所有者や隣接する商店街、自治会など市民との協働で行うけやきの管理体制を構築します。	管理課	けやき並木通りの清掃について、インフラ管理ボランティア制度の活用を促していく。	申請数	毎年5団体	20 団体	17 団体	やや遅れが生じているが、概ね順調	けやき並木通りの清掃は、周辺住民や店舗事業者により適宜行われた。 短期 16団体 長期 1団体	基本方針1 緑の保全と活用
						150 団体	41 団体			
17	○景観形成の目標及び方針を実現するため、景観協定、まちづくり誘導地区、地区計画などの活用を検討します。	計画課	開発事業等において景観協定を締結する面積を増加する。	景観協定面積	平成34年度 5,000㎡	5,000 ㎡	0 ㎡	やや遅れが生じているが、概ね順調	大規模な開発事業や事業者等の相談があった際には、景観協定に向けて積極的に誘導しているが実際のところ、締結までは結びつかない現状である。	基本方針3 景観の保全
						— ㎡	0 ㎡			
20	○カーボンオフセットなどの地域の枠を超えた取組を推進します。	環境政策課	カーボンオフセット事業を継続し、二酸化炭素吸収量の増加を図ります。	森林整備実施面積	毎年約20ha	20 ha	17.31 ha	目標どおり順調に進捗している	事業開始(H23)からの間伐面積は113.9ha	基本方針4 地球温暖化対策
						180 ha	53.81 ha			
2	○用水路は、ふるさどを感じさせる田園風景を構成する重要な要素であることから、地域の住民の協力を得て、公園や緑道などと一体となった利用のあり方を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	緑道などの改修に伴い、水の経路整備を図ることで、通年通水範囲の拡大に取り組んでいる。	基本方針1 水辺の保全と活用
						9 か所	3 か所			
10	○用水路の活用にあたっては、まちに潤いをもたらす環境用水として位置付け、通年通水を目指し多様な生物がすめる水辺づくり、景観の保全、親水性の向上に配慮した整備を検討します。	公園緑地課	親水路の通年通水の検証	施設改良	毎年1か所	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	通年通水(環境用水)の取組を進め、範囲を拡張するとともに、施設の整備を進めていくことにより、水を中心とした生物の活動範囲を広げ、生物多様性の取組につなげていく。	基本方針1 水辺の保全と活用
						9 か所	3 か所			
8	○生き物の生息状況及び生息環境の現状と経年変化を把握するため、市民団体やボランティア、教育・研究機関などと協力して、調査方法を検討し、定期的に生き物調査を実施します。	環境政策課	動植物の生息状況を把握し、自然環境への関心の向上を図ります。	生きもの調査の実施回数	毎年12回	12 回	12 回	目標どおり順調に進捗している	毎月武蔵台公園にて、自然環境調査員による動植物調査を実施している。	基本方針1 生物多様性の保全
						108 回	36 回			
15	○府中崖線の保全とともに、崖線と調和した土地利用を進めます。	公園緑地課	巨大化及び枯れによる樹木を選定基準に基づき、計画的な剪定を実施し、樹木の再生を図る。	枯損木の撤去及び植樹	毎年1か所 平成31年度で終了	1 か所	1 か所	目標どおり順調に進捗している	専門家の意見を踏まえ崖線の緑の在り方など、適正な維持管理について取り組んでいく。	基本方針3 適切な土地利用の推進
						6 か所	3 か所			
30	○自然観察会や農業体験、野外体験学習など自然とふれあえる体験学習を推進します。	環境政策課	自然との触れ合いの場を提供し、心身の健やかな成長と環境への関心の向上を図ります。	田んぼの学校の開催回数	毎年5回	5 回	5 回	目標どおり順調に進捗している	上半期の稲の状況がよかったと思われる、昨年よりも収穫量が増え多くの参加者に喜ばれた。来年度も良い結果が得られるよう関係者と連携して進めたい。	基本方針5 地域の環境保全活動の推進
						45 回	15 回			